

沢発
北開
下再

審議会、計画を承認

傍聴者から「乱暴」の声も

世田谷区の下北沢駅前
に道路やロータリーを整
備する再開発計画案につ
いて、区都市計画審議会
(会長―東郷尚武・元東

京市政調査会常務理事)
が18日開かれ、採決の結
果、計画案を承認するこ
とを決めた。
審議会では都市計画法
17条に基づき計画案の縦
覧で、区が賛成の意見書
の下書きを作成し、一部
市民に渡していた問題

も指摘され、傍聴した
区民から「このような状
態で、答申をまとめる
のは乱暴」との声が上
がった。

審議会では、区側が計
画案の縦覧に対して提出
された1051通の意見
書の要旨を公開し、賛成
意見が4割にとどまった
ことを報告。また、複数
の委員が、区が賛成の意
見書の下書きを作成した
ことを批判した。

だが、採決では、会長
を除く出席14人のうち自
民、公明両党の区議や商
店会長ら9人が計画案に
賛成し、審議会として計
画案を承認する答申を出
すことが決まった。

審査会終了後、東郷会
長は「行政側に、市民の
意見を特定の方角に誘導
するような行為があった
のは、公平性、公正性の
点で問題がある」とした
上で、「このような状態
で決着を付けるのは苦渋
の選択だった」などと述
べた。

【市川明代】